

## 一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

した。

これまでの助成事業の実施状況は、昨年7月から本年8月末までに、助成件数4千20件、助成額3億4千52万8千円、修繕に要した費用は約28億3千200万円となっている。

被災住宅助成の今後の見通しは、被災住宅の修繕が年度内に完了することは非常に難しいと考えられ、現時点では、申請受け付け期間の延長も視野に入れながら判断していきたい。



久松 猛 議員

### 震災家屋修繕費補助の実施状況と見直し及び住宅リフォーム助成制度について

**質問** 震災家屋への修繕費補助の実施状況と見直し及び震災復興の見通しが立ってから導入すると表明した住宅リフォーム助成制度の立ち上げについて伺う。

**市長** 東日本大震災による甚大な被害を踏まえ、被災された方々の負担軽減を図る目的で住宅等の修繕費の一部を助成する制度を創設し、昨年7月より修繕費の助成を開始



地震直後の家屋

また、住宅リフォームの助成制度の導入については、被災住宅修繕助成事業の見通しが立った後に、速やかに移行できるように準備を進めてまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)  
 ・特定健康診査について  
 ・土浦小の桜樹伐採について  
 ・医療費の窓口一部負担金の減免要綱の策定について

### 農業をとりまく諸課題について(鳥獣被害防止対策)



竹内 裕 議員

**質問** レンコン農家に対するカマガモ対策の防鳥ネットの今後の補助申請活動と茨城県、イノシシ被害防止方針と本市がそれを受けての対策について伺う。

**産業部長** 土浦市とかすみがうら市で農産物被害防止対策協議会を立ち上げ、平成23年度までに、75ヘクタールのカルガモの防鳥ネットの整備、2ヘクタールのイノシシ侵入防止柵の整備を実施し、鳥獣による農作物被害の減少に努めます。

防鳥ネット整備地区の中には、同時期でのネット整備ができなかったレンコン圃場も混在しており、未整備圃場への対策の検討を進めていきたいと考えている。

イノシシによる農作物被害を総合的、効率的に防ぐため、県・市・関係団体等で、本年4月にイノシシ等被害防止対

策協議会を設立し、本市も構成員として、イノシシの専門知識者育成を目的とした茨城猪塾に参加している。今後は今までの猟友会等に頼る捕獲対策と合せ、農業者個人や地域ぐるみの防護対策について協働で取り組むことが可能になると考えている。

(掲載以外の質問事項)  
 ・新在留管理制度の現状と課題について

### 土浦全国花火競技大会、土浦新能に障害者専用席を



福田一夫 議員

**質問** 土浦全国花火競技大会、土浦新能における障害者をお持ちの方、体のご不自由な方に対する対応はどうなっているのか伺う。

**産業部長** 土浦全国花火競技大会における障害者専用席については、大会実行委員会では、4年前の第78回大会より、試験的に会場の西側で土浦学園線近くの穴塚地内の市有地を活用し、予約有料制ですが、

車椅子利用や下肢障害等で歩行が容易でない、身体障害者手帳を所持する方を対象とし、障害者専用駐車場(8台分)と障害者用仮設トイレを設置し、車で直接おいでいただき、そのまま観覧できる場所を提供している。

**教育部長** 土浦新能における障害者専用席の設置については、雨天時等の市民会館での開催や限られた鑑賞席数の関係から、障害者専用席としては設置していないが、障害者の方が来場された時には、車椅子のまま鑑賞いただいております。市民会館での開催となった場合でも、申し出があれば車椅子専用の場所を確保したいと考えている。

(掲載以外の質問事項)  
 ・著作権教育について



土浦花火づくし